R6 三郷市立彦成小学校 体力向上グランドデザイン

文武両道

今年度も体育科における「気力あふれる」とは…「運動が大好き」であり、「目標や困難に立ち向かう」姿と捉えて研究を進めていく。

研究テーマ

今年度「深化と浸透」

気力あふれる児童の育成

～「運動好き」を増やし、「目標や困難に立ち向かう力」を育む実践を通して～

数値目標1　運動好き100%
（体育好き100%+運動と外遊び好き100%）
【実態】 R5 体育好き 93.5%・運動と外遊び好き 95.1%

数値目標2　【1】総合評価 A+B+C:95% A+B:78%
【2】8項目中5項目以上の第一目標達成児童の割合68%以上
【実態】1. A+B+C:R4 94.8% A+B:R4 75.9% 2. 65.9%

研究の仮説

↓ ◎多くの非認知能力 ◎3観点バランスよく！！

授業　「価値あるざっくばらんな関わり合い」を取り入れれば、多様な資質・能力が育まれ、運動大好きな児童を育成することができるであろう。

教科外　「基盤となる心と体つくり」を充実させれば、成功体験を積み重ねられ、目標や困難に立ち向かう児童を育成することができるであろう。

↑ ◎たくさんの「できた！！」が、「次のできるかも！」に繋がる！！

具体的な手立て

「価値あるざっくばらんな関わり合い」

○「価値あるざっくばらんな関わり合い」について
「児童が学びの目的を明確に把握し、その解決に向かい、全ての児童が対話や補助を通して積極的かつ、真剣に関わり合っている。また、対話を通して、児童一人一人が学びを深め、課題解決につながっている。」

①友達と試技の結果やできばえを伝え合いながら学習する。【協働的な学び】 ＋ ②自分の技能段階に合ったレベルを選択(自己調整)しながら学習する。【個別最適な学び】

◎今年度の研修で「価値あるざっくばらんな関わり合い」を加速させるための重点事項

ざっくばらんの深化！！！

Ⅲ 学びの雰囲気を創る教師行動　※これがあるから「ざっく…」に関われる！！
①表情、ハイタッチ、話の抑揚、間等が肯定的で温かく、タイミングがよい。
②効果的な声かけ（「レベルの調整を促す」「運動のポイントを気付かせる」「具体の賞賛」）

Ⅱ 教材、教具の工夫　①友達と試技の結果やできばえを伝え合える（ICT の活用等）＋ ←ざっく!
②自分の技能段階に合ったレベルを選択できる

Ⅰ ねらい【指導内容】の明確化　※これをするから「価値あるざっくばらんな関わり合い」に迫れる

①指導内容を「絞る」	ねらいが明確で、児童がそれを理解している。
②指導内容を「繋ぐ」	毎時間の指導内容の繋がりが意識され、児童が学習内容に必要感をもっている。
③指導した内容を「褒める」	指導内容を具体的に褒めていて、児童が運動に前向きに取り組んでいる。

活動内容の浸透！！！

「基盤となる心と体つくり」

Ⅰ 教科外体育の充実　◎今年度の重点事項

○なりスポ（業前運動）の浸透
全校での体育。週に4回。「鉄棒、投力、綱引きローテ」を中心に。

○業間運動の質の向上
「走」を中心に！行事等に関連した内容も。

◎児童主体の活動
運動委員会の活動を充実させ、他学年に運動を教え運動の素地を育む。

Ⅱ 家庭・地域との連携

○体力アップカードの効果的活用
授業での伸びを中心に児童の記録を記入し、保護者に周知するとともに児童の更なる成長を促進する。

○放課後彦成クラブの浸透
地域にご協力をいただき、放課後も運動に親しむ環境をつくる。

Ⅲ 職員研修「不易を大切に、流行に敏感に」

◎月例研修の充実
若手教員指導力向上と体育の研究の継承をする。
「体育授業見て見てシート」の活用で更なる研修の充実を図る。

・運動に親しむ環境整備
フリーボールやボルダリングの開放。片付けを通して、用具の大切さも。

・「令和6年度 彦成小体育授業45」の浸透
「彦成45」を令和6年度仕様に。彦成体育の基本になるように。